



緊急通報装置

利用してみませんか？

町では、ひとり暮らしの高齢者・障がい者などで慢性疾患や整形疾患により日常生活に見守りが必要な方が緊急時の不安を解消し、安心して在宅生活を続けられるように、緊急通報装置の設置を推進しています。装置の取り付けおよび利用は無料で、緊急時には総合警備保障株式会社 ALSOK（アルソック）の警備員が 24 時間体制で対応します。

こんなとき（緊急時）に活用されます

- ① 装置の緊急ボタンを押したとき
- ② 火災やガスなどの警報が鳴ったとき



- ③ 装置を設置したドア（冷蔵庫やトイレの扉）が 24 時間開閉されなかったとき



隊員が現場に駆け付け、同時に受信センターで家族への連絡や救急車の出動要請を行います



私たちに任せください

ALSOK ガードマン
西野 将浩 さん

昨年、栗山町では 77 件の出動があり、家の中での転倒や突然倒れた際など、最も多い要請内容は「非常通報」です。装置はペンダント式になっており、家で肌身離さず携帯できます。また、24 時間体制で駆け付け、場合によっては救急車の要請も行います。対応する隊員は普通救命以上の講習修了者であり、万一の際も救命率を飛躍的に向上させることができます。ご本人さまをはじめ、離れて暮らすご家族の方にも安心を提供しています。いつでも早急に安心を提供できるように心掛け、これからも皆さんの見守り活動を進めていきます。

対象 ※概ね 65 歳以上の方で次の要件を全て満たす方

- (1) 心臓疾患、高血圧などの慢性疾患や整形疾患により日常生活上、注意を要する状態にある方
- (2) 世帯の状況が次のいずれかに該当する方
 - ① ひとり暮らし
 - ② 同居人はいるが、同居人も日常生活上、注意を要する状態にある方
 - ③ 同居人はいるが、同居人が定期的・継続的に仕事などで概ね半日以上外出するために、ひとりで生活することとなる方

※障がい者のみの世帯で、日常生活上、注意を要する状態にある方または概ね 90 歳以上のひとり暮らしの方は健康状態、世帯状況問わず対象です。また、固定電話回線に取り付けるため、装置の電気代、通報時などの通話料は自己負担です。なお、電話回線の無い方は別途回線料を自己負担で支払うことで装置が利用できます。

【問い合わせ】 地域包括支援センター ☎ 73-2255

～功績をたたえて～

北海道知事感謝状

朝日 4 丁目在住で北海道猟友会栗山支部に所属する石井一男さんが、道内のエゾシカ対策の功労者として、北海道知事より感謝状が贈られました。石井さんは長年ハンターとして活躍され、昨年 12 月には町の善行表彰も受賞しています。84 歳である現在も現役を続ける石井さんは「今後も後継者育成を行い、女性も含めた多くの仲間が加わってほしいです」と話していました。



受賞を喜ぶ石井さん（右から二番目）と猟友会栗山支部長の正井文雄さん（左から二番目）

全国青年農業者会議優秀賞

栗山町・由仁町の若手農家で構成される「そらち南さつまいもクラブ」が 3 月に東京で開催された、全国青年農業者会議プロジェクト発表（地域活動部門）で優秀賞（農林水産省経営局長賞）を受賞しました。発表では、同クラブが栽培するさつまいも「由栗も」のブランド化について紹介。川端祐平会長は「今後も生産力をあげ、多くのつながりを活かし、販路を広げたいです」と力強く話していました。



サツマイモクラブの会員の皆さん（左から）山崎敬太さん、川端祐平さん、（右）井澤孝宏さん

まちづくり懇談会

— 皆さんの声を町政に —



18:30～ 南部公民館
■ 継立・日出・南部地区の皆さん
■ 南部地区自治会長



18:30～ しゃるる
■ 栗山市街・北部地区の皆さん
■ 町内会長、北部地区自治会長



18:30～ カルチャープラザ
■ 町内関係機関・団体長



18:30～ 改善センター
■ 角田・中部地区の皆さん
■ 中部地区自治会長



— 主な懇談内容 —

- ① 町からの情報提供
令和 6 年度の推進事業について
- ② 町民の皆さんと懇談